

平成31年度 校内研究計画

1 研究主題

生き生きと自分の思いを伝え合う子どもの育成をめざして
～外国語活動・外国語における聞く・話す活動の指導の工夫を通して～

2 主題設定の理由

小学校学習指導要領解説外国語活動編では、コミュニケーション能力の素地を養うためには、「言語や文化について体験的に理解を深めること」「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ること」「外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませること」などを踏まえた活動を総合的に体験させることが必要であると示されている。これからの社会を形成していく子どもたちには、国際的な視野に立って異なる言語や文化にも理解を示し、外国語を用いて、聞くことや話すことに慣れ親しみ、相手を理解したり、自分を表現したりすることの楽しさを体験させることが重要であると考えられる。

本校は、29年度より外国語活動を主体としたカリキュラム・マネジメントに取り組み、全学年においてALTとのティームティーチングで外国語活動の授業を進めてきた。昨年度からは、「中学年外国語活動」「高学年外国語科」の全面実施に向けて校内研究としても取り組み、低学年は10時間、中学年は35時間、高学年は70時間、外国語活動・外国語の授業を実施することができた。校内研究1年目は、児童も指導者も外国語に慣れ親しみ、楽しんで活動する授業作りに取り組んだ。

本校の多くの児童は、外国語活動の授業を楽しみにしている。昨年度の児童アンケート（6月と12月実施）の結果、ほとんどの学年で「外国語活動・外国語の学習が楽しい」と感じている児童の割合が増加している。特に、5年生は、「外国語の学習がとても楽しい」と感じている児童の割合が2割以上増加していた。ゲームやチャンツを通して、英語の音声やリズムなどに親しむ楽しい時間となっているといえる。しかし、3、6年生では、「外国語を使って進んで友達とかかわろうとしている」と答えている児童の割合が減少している。児童が授業の中で、英語の発音をよく聞き取ることができないために何をしたらよいのか、どのように尋ねたり答えたりしてよいのかわからないといったことが考えられる。これは、チャンツやゲームなどの英語を使った活動自体は楽しめているが、英語を使って伝え合うことの楽しさは十分に感じているとは言えないことが原因と思われる。一つ一つの活動が指導者から与えられたものになってしまい、相手意識や目的意識をもって友達と伝え合って交流をしていないことが考えられる。このような実態から、自分を表現するためのコミュニケーション力を身に付けること、その楽しさを味わわせることが必要であると考えた。

児童の興味・関心に合った題材を選び、児童が意欲をもてる単元ゴールやコミュニケーションをとりたくなる活動内容・場面を設定すれば、児童の学習活動に幅が広がり、児童の話す相手や外国語について興味関心を高めることができるとともに、「もっと知りたい」「もっと関わりたい」という意欲を育てることができると考えられる。

このような外国語活動・外国語を通して、外国語に慣れ親しみ、自分の思いや考えを伝え合う楽しさを体感することで、身近な友達や家族など周りの人たちと外国語やジェスチャーを用いて積極的にコミュニケーションを図り、楽しんで活動する子どもが育っていくものと考え、本主題を設定した。

3 研究の目標

外国語活動・外国語において、既習の外国語に慣れ親しみながら、児童が自分の思いや考えを伝え合う楽しさを味わい、積極的にコミュニケーションを図ろうとする学習活動の指導の工夫や在り方について探る。

4 研究の仮説

外国語活動・外国語において、児童の発達段階や興味関心、各単元の指導内容に応じて、聞く・話す活動を重点に置いた授業作りや環境作りを行えば、自分の思いや考えを伝え合う楽しさを味わい、積極的に他者とコミュニケーションを図ろうとする児童が育つであろう。

5 研究の内容と方法

(1) 指導技術向上のための研修

- ①授業の実践・・・教材研究、発問・指示の工夫、授業の視点
 授業研究会（全体研2回、グループ研4回）
 教材・教具・ワークシートの開発、年間計画作成（低学年）
- ②理論研究・・・講師招聘、先進校の視察・報告会

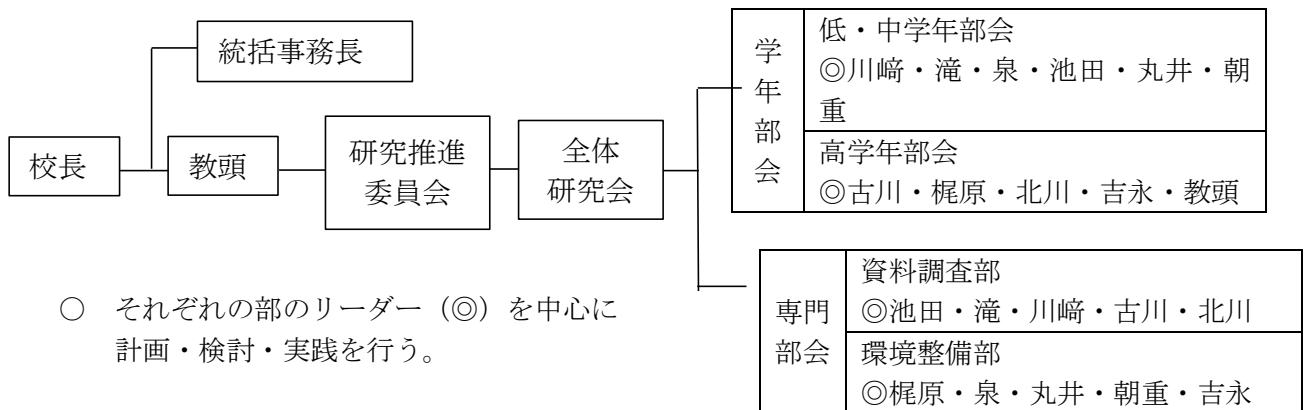
(2) アンケート等の調査の実施・・・児童の実態及び変容の調査

外国語活動・外国語に関する意識調査実施

(3) 外国語活動・外国語に係る環境作り・・・校内掲示の工夫、Eルームの活用 校内放送の活用、外国語コーナー

6 研究の組織

(1) 組織図



(2) 専門部の活動内容

ア 資料調査部

- ・児童の実態把握のための意識調査
- ・指導法の提案、紹介（授業、指導案、ワークシートなど）
- ・先進校、研究発表校の資料収集

イ 環境整備部

- ・学習環境づくりの推進（校内掲示、Eルーム、各教室）
- ・教材・教具の作成および整理、保管
- ・校内放送の活用

7 研究の計画

4月	研究推進委員会、全体研究会 専門部会、学年部会	10月	学年部会（グループ授業研③）
5月	全体研究会、専門部会 全体研究会、意識調査の実施	11月	全体研究会（講師招聘・全体授業研②） ※学校訪問
6月	全体研究会 全体研究会（講師招聘・全体授業研①）	12月	学年部会（グループ授業研④）、専門部会、 全体研究会、意識調査の実施・分析
7月	専門部会、学年部会、 全体研究会、意識調査の分析	1月	全体研究会（研究のまとめ） 専門部会、学年部会
8月	研究推進委員会、専門部会、学年部会 全体研究会（講師招聘・理論学習）	2月	全体研究会（研究のまとめ） 学年部会
9月	学年部会（グループ授業研①） 学年部会（グループ授業研②）	3月	研究推進委員会

